

最終年度を迎えた中期経営計画の実現を目指し、新製品の積極的な投入と販売体制のさらなる増強により、「成長」と「構造改革」の加速に努めました。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社第53期・第2四半期累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)の事業概況をご報告いたします。

食品業界におきましては、人口減少により内需が伸び悩むなか、販売競争の激化に加え、お客様の価値観の多様化に応じた差別化へのニーズはさらに高まり、根強い節約志向への対応を求められるなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、「成長」と「構造改革」を掲げた中期経営計画の最終年度にあたり、「成長分野である惣菜向けを中心とする業務用製品の積極的な収益拡大」と、「生鮮向け製品などの主力製品分野における安定的な収益確保」の実現という基本方針を踏襲しつつ、経営環境の変化に即応できる販売・開発体制のさらなる増強、および新製品開発によるラインアップの拡充と販売促進の積極展開に努めました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、98億75百万円(前年同期比3.2%増)となりました。利益につきましては、販売活動への積極投資を実施するなか、労務費・人件費関連コストが増加する一方で、原材料価格が安定的に推移したことなどにより、営業利益1億98百万円(前年同期比26.2%増)、経常利益2億9百万円(前年同期比32.2%増)、四半期純利益は1億25百万円(前年同期比34.5%増)となりました。また、中間配当につきましては、前年同期と同額の1株当たり9円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長CEO

松本 洋助

取締役社長COO

阿部 孝博

Q 第53期中間決算および上期の取り組みへの評価をお聞かせください。

液体調味料群においては、主力製品の「焼肉のたれ」類が順調に売上を伸ばすとともに、家庭で手軽に話題のメニューが楽しめる『ポークチャップの素』、『サラダチキンの素』などの新製品が売上を牽引しました。業務用では専任部署の新設および人員拡充により、精肉向けのソースや惣菜向けのたれ、コンビニエンスストア向け製品が大きく伸びました。スープ類では、秋冬市場

向け主力の「もつ鍋スープ」「カレー鍋スープ」が好調な滑り出しを示すなか、人気の辛味系ポテトスナックの味を鍋料理で再現したコラボレーション製品『コイケヤ監修 カラムーチョ鍋スープ ホットチリ味』を新たに投入しました。また、主力のキムチ鍋スープシリーズにおいても新製品の投入とリニューアルを行い、「コク」、「うまみ」にこだわったラインアップを強化しました。

粉体調味料群においては、小売用『味・塩こしょう』シリーズの詰め替え用が好調に売上を伸ばしました。

その他調味料群においては、新製品『ピーマンの春雨炒め用

セット』の投入により、「野菜春雨炒め」シリーズのラインアップを充実させました。即食製品では『黒のスープはるさめ』を新たに投入しました。

戦略分野である業務用製品に向けたさらなるメニュー開発と販売力の増強、および販売体制の一層の強化により、最終年度を迎えた中期経営計画を着実に前進させた上期であったと評価しています。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

下期の食品業界も引き続き厳しい経営環境が予想されますが、当社では、中期経営計画の「成長」と「構造改革」の施策を全うし、さらなる売上の拡大と利益率の改善を目指します。

通期の業績見通しにつきましては、期初の計画通り、売上高は218億円、営業利益7億40百万円、経常利益7億40百万円、当期純利益4億40百万円の増収増益を見込んでいます。株主の皆様への利益還元につきましては、今後も、業績の見通し、配当性向などを総合的に判断しつつ、長期安定的な配当の継続を基本方針とさせていただきます。

10月には、『バラエティ広がる 5つの味のスープはるさめ』および『おいしさいろいろ 5つの味のスープはるさめ』に使用しているはるさめの一部に、食感の悪いものが含まれていることが判明し、ただちに自主回収に踏み切りました。ステーキホルダーの皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけし、改めて深謝申し上げます。より一層の品質管理体制の強化により再発防止に努めつつ、創業者と先輩社員たちが築きあげた「おいしさで・あわせをつくる」当社の食文化創造への情熱を共有しつつ、社業の発展に邁進してまいります。

ステーキホルダーの皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

売上高 | 単位:百万円



経常利益 | 単位:百万円



四半期純利益 | 単位:百万円



総資産/純資産 | 単位:百万円



鍋が辛くてなぜおいしい!

🍲 タイショー × コイケヤ コラボ商品

コイケヤ
監修

カラムチ鍋 スープ



湖池屋の「カラムチ」は、辛味系スナックのパイオニア的存在として、1984年の発売以来親しまれてきたロングセラーの商品です。発売当時、子供だった世代は今では大人。当社は、この「カラムチ」のフレーバーを再現した、これまでにない辛味系の鍋を提案いたします。

おすすめの鍋あと

中辛には

トマトチーズ
リゾット



辛口には

まぜそば



材料と作り方

- 1 鍋あとに、1cm角に切ったトマト(1/2個)とごはん(茶わん1杯)を入れ、中火にかけます。(約3分)

- 2 煮立ったらとろけるチーズを適量(スライスチーズなら1枚)に加え、蓋をして火を止め、1~2分蒸らせば出来上がりです。お好みでスティックカラムチ(約15g)を加えてもおいしくお召し上がりいただけます。

材料と作り方

- 1 鍋あとに中華麺またはちゃんぽん麺(1玉)を入れ、中火にかけます。(約3分)
※生麺を使用する場合は、かたみに下ゆでしてから入れてください。

- 2 ひと煮立ちしたら火を止め、卵黄(卵1個分)のをせ、きざみねぎ・きざみのりをちらし、全体を混ぜ合わせてからお召し上がりください。お好みでスティックカラムチ(約15g)を加えてもおいしくお召し上がりいただけます。

開発担当者からひと言



「中辛」を
開発

小売用NB商品開発課
沖 智彦



「辛口」を
開発

東京商品開発課
竹之内 友季

「鍋が辛くてなぜおいしい!」…なぜの秘密は…香ばしい野菜の風味、そして香辛料です。「カラムチ」の“辛くておいしい”という絶妙な味の特徴を鍋スープで再現することはとても苦労しました。原材料の種類や配合比の調整を繰り返し検討した結果、香ばしいニンニクとタマネギを加えています。また、香辛料は、中辛と辛口で唐辛子の種類を使い分け、通常の鍋スープよりも細かい配合としています。鍋あとは、スティックカラムチをトッピングとして加えるとスナックのサクサク食感も楽しむことができおすすめです。「中辛」、「辛口」からお好みの辛さを選んでいただき、ご家族・ご友人と旨くて辛い鍋をお楽しみください。



ホットチリ味 中辛



ホットチリ味 辛口

食の安心・安全に
対する取り組み

「FSSC22000」の認証取得

ダイショーの製品は、東日本の「関東工場」と西日本の「福岡工場」、「福岡第二工場」、「九州工場」の4工場を拠点にしています。

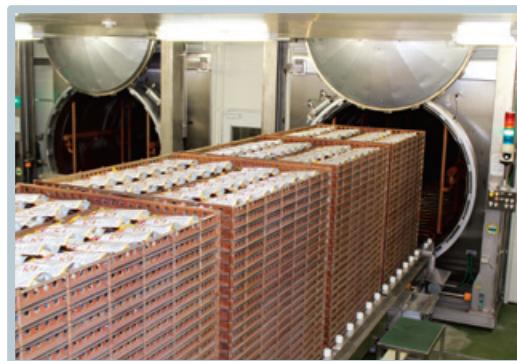
この重要な製造拠点におけるキーワードは「安心・安全」です。

当社は、消費者の視点に立った安心・安全の確保を基本に、徹底した品質保証体制を構築する一方、食品安全管理の国際規格「FSSC22000」の取得を通じ、衛生管理ノウハウの蓄積と継続的に機能させるための取り組みを進めています。

FSSC22000とは

国際食品安全イニシアチブ(GFSI: Global Food Safety Initiative)の食品安全認証スキームで、食品安全マネジメントシステムの国際規格「ISO22000」と食品衛生管理を維持するための食品製造に特化した前提条件プログラム「ISO/TS22002-1」を組み合わせたマネジメントシステムです。

食品製造で要求される前提条件プログラムが明確化され、食品安全のリスクを効果的に減少させるシステムであることから注目されています。



九州工場の加熱殺菌装置

認証取得にあたっては加熱殺菌の工程などでも細やかな改善が求められました。

2000年から開始した食品安全規格認証取得の取り組み

2000年5月 福岡工場レトルト部門においてHACCP(危害分析重点管理方式)承認

2003年5月 関東工場レトルト部門においてHACCP承認

2010年7月 福岡工場、福岡第二工場、関東工場にてISO22000 認証取得

HACCPの横断的管理の観点から、認証取得に取り組みました。



2013年7月 九州工場にてFSSC22000 認証取得

工場新設を機に、さらなる管理体制強化のため、自社内で学習しながら導入を進めました。



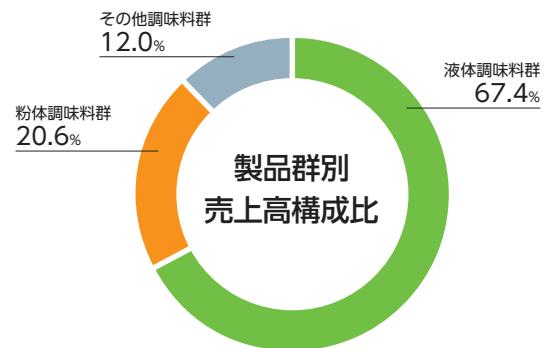
2014年6月 関東工場にてFSSC22000 認証取得

2016年7月 福岡工場、福岡第二工場にてFSSC22000 認証取得

規格の要求項目への細かい対応、製造現場に応じた代替案での取り組みを積み重ね、全4工場で認証を取得しました。

これからも、規格改定への対応を通じて、システム化や対応策の積み重ねで食の安全への取り組みをさらに深めてまいります。

決算の概要



売上高	98億75百万円	前年同期比	3.2% 増
営業利益	1億98百万円	前年同期比	26.2% 増
経常利益	2億9百万円	前年同期比	32.2% 増
四半期純利益	1億25百万円	前年同期比	34.5% 増

品目別売上状況

液体調味料群

たれ

小売用では主力製品の「焼肉通り」「秘伝 焼肉のたれ」が売上を伸ばすなか、『ばばっと逸品』シリーズの一部をリニューアルしました。業務用では専任部署の新設・人員拡充を一層推進し、顧客のニーズに沿ったメニュー開発・提案による市場開拓が奏功し、精肉向け、コンビニエンスストア向け製品が大きく伸長しました。

スープ

主力の「もつ鍋スープ」「カレー鍋スープ」が好調な滑り出しをみせるなか、人気の辛味系ポテトスナックの味を鍋料理で再現したコラボレーション製品「コイケヤ監修 カラムーチョ鍋スープ ホットチリ味」を新たに投入しました。また、主力のキムチ鍋スープシリーズにおいても新製品の投入、リニューアルを行うなど、「コク」、「うまみ」にこだわったラインアップを一層強化し、大きく売上を伸ばしました。コンビニエンスストア向け専用製品なども貢献しました。

ソース

小売用では、手軽に話題のメニューが楽しめる新製品『ポークチャップの素』『サラダチキンの素』などが売上を牽引しました。業務用では「にんにく黒胡椒焼ソース」などの精肉向け製品が大きく売上を伸ばしました。

ドレッシング

小売用製品全体において苦戦し、売上は減少しました。

粉体調味料群

小売用では、『味・塩こしょう』シリーズの詰め替え用が好調に売上を伸ばしましたが、粉末調味料全体では苦戦しました。業務用は惣菜向け、コンビニエンスストア向けなど、ラインアップを充実させました。青汁は大変厳しい販売環境のなか、売上は減少しました。

その他調味料群

小売用は、新製品『ピーマンの春雨炒め用セット』などを投入し「野菜春雨炒め」シリーズのラインアップを充実させました。即食製品では、『黒のスープはるさめ』を新たに投入しました。その他業務用製品は大きく売上を伸ばしました。

四半期財務諸表

四半期貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2018年3月31日現在	当第2四半期末 2018年9月30日現在
資産の部		
流動資産	6,092	6,546
固定資産	7,880	7,835
有形固定資産	6,820	6,619
無形固定資産	39	27
投資その他の資産	1,021	1,188
資産合計	13,973	14,381
負債の部		
流動負債	4,214	4,673
固定負債	1,950	1,860
負債合計	6,164	6,534
純資産の部		
株主資本	7,746	7,785
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	6,610	6,649
自己株式	△114	△114
評価・換算差額等	61	61
純資産合計	7,808	7,846
負債純資産合計	13,973	14,381

四半期貸借対照表

- 流動比率は140.1%と返済能力に問題はありません。
- 有形固定資産の減少は減価償却によるものであります。
- 負債の増加は主に短期借入金の計上によるものであります。
- 自己資本比率は54.6%と前期末より若干低下しております。

四半期損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日	当第2四半期累計 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
売上高	9,569	9,875
売上原価	5,654	5,780
売上総利益	3,914	4,094
販売費及び一般管理費	3,757	3,895
営業利益	157	198
営業外収益	9	18
営業外費用	8	8
経常利益	158	209
特別損失	1	9
税引前四半期純利益	156	200
法人税、住民税及び事業税	63	74
四半期純利益	93	125

四半期損益計算書

- 売上高は、前年同期を3.2%上回り6期連続の増収となりました。
- 営業利益は増収のなかコストの効率化に努め、増益となりました。
- 経常利益および四半期純利益も営業利益と同様、増益となりました。

新製品ラインアップ

 [750g] 白みそ仕立て 豚うま鍋スープ	 [750g] 旨から赤鍋スープ	 [400g] 参鶏湯(サムゲタン)用 スープ	 [300g] 牛肉の甘辛煮の素	 [750g] 辛口キムチ鍋スープ	 [750g] キムチ鍋スープ
 [750g] 味噌キムチ鍋スープ	 [150g] 煮豚のたれ	 [130g] 沖縄風 角煮のたれ	 [600g] ごくベジ 10種の国産野菜だし鍋スープ	 [750g] 野菜をいっぱい食べる鍋 とんこつ醤油味	 [750g] 野菜をいっぱい食べる鍋 ごま豆乳鍋スープ
 [100g] 山芋グラタン用ソース	 [100g] ばばっと逸品 大学いものたれ	 [22g] ばばっと逸品 ごま和えの素	 [750g] 野菜をいっぱい食べる鍋 仙台せり鍋スープ	 [750g] 鮮魚亭 真鯛だし鍋スープ	 [750g] 鮮魚亭 寄せ鍋スープ 白湯仕立て
 [250g] 鮮魚亭 梅香の生姜煮のつゆ	 [80g] 厚揚げのそぼろ煮のたれ	 [580g] コイケヤ監修 カラムーチョ 鍋スープ ホットチリ味 中辛	 [580g] コイケヤ監修 カラムーチョ 鍋スープ ホットチリ味 辛口	 [80g] ゆず塩	 [580g] うまさ ぎゅっ キムチ鍋スープ
 [580g] うまさ ぎゅっ 生姜豆乳鍋スープ	 [580g] うまさ ぎゅっ ちゃんこ鍋スープ	 [6食入り] 和風スープはるさめ	 ... 精肉  ... 青果  ... 鮮魚  ... 日記  ... 食品		

会社概要/株式の状況 (2018年9月30日現在)

会社概要

社名 株式会社ダイショー (英訳名) DAISHO CO., LTD.
本社 東京本社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
 TEL: 03-3626-9321 FAX: 03-3626-9393
 福岡本社 〒812-0064 福岡市東区松田1丁目11-17
 TEL: 092-611-9321 FAX: 092-611-8288

ホームページアドレス http://www.daisho.co.jp
設立 1966年12月19日
資本金 870百万円
事業内容 たれ、スープ、粉末調味料など製造販売
従業員数 690名

役員

取締役
 代表取締役会長CEO 松本 洋助
 取締役副会長 中嶋 良二
 取締役社長COO 阿部 孝博
 専務取締役 中西 昌至
 取締役 坂田 恵補
 取締役 堀脇 裕之
 取締役 古田 龍輔
社外取締役 本郷 伸介
常勤監査役 仁科 悟
社外監査役 藤崎 武
社外監査役 成清 一郎

株式の状況

発行可能株式総数 …………… 24,000,000株
発行済株式の総数 …………… 9,868,800株 (自己株式216,088株を含む)
株主数 …………… 16,475名
大株主

株主名	持株数(単位:千株)	持株比率(単位:%)
有限会社山田興産	2,442	24.75
一般財団法人金澤記念育英財団	1,488	15.07
松本賢子	853	8.64
ダイショー従業員持株会	292	2.96
松本洋助	206	2.08
株式会社西日本シティ銀行	180	1.82
株式会社福岡銀行	114	1.16

(注)当社は自己株式216,088株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

株式分布状況



株主優待ご案内 株主優待制度の内容

- 対象となる株主様**
 毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記載された**100株以上**ご所有の株主の皆様を対象といたします。
- 贈呈品** 自社製品詰め合わせ
 - 1,000円相当……………100株以上
 - 2,000円相当……………500株以上
 - 3,000円相当……………1,000株以上
 - 6,000円相当……………5,000株以上



写真は3,000円相当の製品例

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	郵便物送付先	〒168-0063
定時株主総会	毎年6月開催	電話照会先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)
剰余金の配当基準日	期末配当…3月31日 中間配当…9月30日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告して定めます。	公告方法	当社のホームページに掲載。 http://www.daisho.co.jp ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株		
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部 (証券コード 2816)

●住所変更、単元未満株式の買い取りのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。
このため、株主様から、お取引の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買い取り請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)



〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
TEL:03-3626-9321(代)
<http://www.daisho.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この冊子の印刷・製本に係るCO2は
PROJECT-With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。

